

平成27年11月12日

陳情第 25 号

平成28年度における障害児者・透析者を含む移動困難者に対する通院支援についての陳情

平成28年度における障害児者・透析者を含む移動困難者に対する通院支援についての陳情

【陳情趣旨】

神奈川県は透析患者は19,149人（2013年12月透析医学会調べ）を数え、平均年齢が67歳を超えている状況にある中、多くの透析移動困難者がおり、通院支援の早急な対応の必要性が求められ、多くの声が強く聞かれます。

NPO法人神奈川県腎友会が平成25年3月に実施した神奈川県内の会員及び病院・施設向け生活実態調査結果からは、通院支援の送迎に頼る比率は、5年前の同調査で18.3%であるのに対し10.8%と減少しております。

これは、患者自身が車いす移動や自己歩行困難者に変化し、福祉車両、介護付き車両の利用に繋がりが、送迎費用として個人負担が増大していることを表しています。また、家族の送迎も伴侶の高齢化により難しくなり、この状況は今後、益々深刻になることが想定されます。

この様な現状を鑑みて、平成28年度予算策定に際し、障害児者・透析者を含む移動困難者に対する通院支援が戴けますよう陳情申し上げます。

【陳情項目】

平成28年度予算策定に際し、障害児者・透析者を含む移動困難者に対する通院支援が戴けますよう陳情申し上げます。

平成27年11月12日

小田原市議会議員

武松 忠 様

提出者

小田原市酒匂2-24-11

小田原西湘腎友会

会長 岩崎 健一 ㊟

横浜市神奈川区台町1-8

ウェイサイドビル504号

特定非営利活動法人

神奈川県腎友会

会長 前田 好夫 ㊟